



2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社トスネット

上場取引所 東

コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者 (役職名) 管理統轄本部取締役統轄本部長 (氏名) 朽木 雄二 TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	5,527	3.9	342	10.2	390	9.6	233	13.1
2023年9月期第2四半期	5,319	7.8	382	18.1	431	14.1	268	18.8

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 262百万円 (8.8%) 2023年9月期第2四半期 288百万円 (31.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	49.29	
2023年9月期第2四半期	56.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	10,527	7,324	69.6
2023年9月期	10,551	7,203	68.3

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 7,324百万円 2023年9月期 7,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		30.00	30.00
2024年9月期		0.00			
2024年9月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	5.1	830	4.1	930	4.1	600	4.0	126.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	4,732,600 株	2023年9月期	4,732,600 株
期末自己株式数	2024年9月期2Q	2,503 株	2023年9月期	2,503 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	4,730,097 株	2023年9月期2Q	4,730,097 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年10月1日から2024年3月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動に緩やかな回復の動きが見られましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、世界的な資源価格の高騰、円安による物価の上昇等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当警備業界におきましては、各種イベント、コンサート等が再開されております。また、能登半島地震で被害を受けた地域のインフラ整備に伴う警備など警備業界に対する期待が高まっております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等の警備事業及び電源供給事業の受注拡大により、当社グループの中核となる事業の展開を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,527百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益は342百万円(前年同四半期比10.2%減)、経常利益は390百万円(前年同四半期比9.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は233百万円(前年同四半期比13.0%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は4,663百万円(前年同四半期比1.6%増)、セグメント損失は82百万円(前年同四半期は25百万円の利益)となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、ゼネコン、建設工事事業会社等へ積極的な営業展開を行った結果、当部門の売上高は3,068百万円(前年同四半期比2.6%増)となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置付け、首都圏を中心に積極的な営業展開をした結果、当部門の売上高は1,347百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、有資格者の増強を図ることにより、他警備事業の効率性も高めることができる当社グループの注力商品の一つと位置付けておりますが、当部門の売上高は157百万円(前年同四半期比2.2%減)となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び労働者派遣業務等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は120百万円(前年同四半期比2.1%増)、セグメント利益は1百万円(前年同四半期比1,774.1%増)となりました。

(メーリングサービス事業)

メーリングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。売上高は221百万円(前年同四半期比7.8%増)、セグメント利益は2百万円(前年同四半期比70.6%増)となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。コロナ禍前に開催されたイベント、コンサートなどが順次再開された結果、電源供給事業の売上高は520百万円(前年同四半期比27.9%増)、セグメント利益は163百万円(前年同四半期比54.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ23百万円減少し、10,527百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が196百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が118百万円、警備未収入金が84百万円減少したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ144百万円減少し、3,202百万円となりました。この主な要因は、未払消費税等が10百万円増加したものの、長期借入金が74百万円、未払法人税等が41百万円減少したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ120百万円増加し、7,324百万円となりました。この主な要因は、株主に対して141百万円の配当金の支払いがありました。親会社株主に帰属する四半期純利益として233百万円計上したことにより利益剰余金が91百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は69.5%となりました。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して196百万円増加し、5,618百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は552百万円（前年同四半期は544百万円の収入）となりました。この主な要因は、法人税等の支払額187百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益392百万円の計上、売上債権の減少202百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は101百万円（前年同四半期は207百万円の支出）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出51百万円、投資有価証券の取得による支出31百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は254百万円（前年同四半期は187百万円の収入）となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入100百万円があったものの、長期借入金の返済による支出182百万円、配当金の支払額141百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,421,461	5,618,067
受取手形及び売掛金	422,120	303,862
電子記録債権	4,715	5,031
警備未収入金	1,110,090	1,025,689
仕掛品	295	231
原材料及び貯蔵品	74,211	64,964
その他	180,217	113,325
貸倒引当金	△5,141	△5,137
流動資産合計	7,207,971	7,126,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	477,961	467,080
土地	1,448,792	1,459,795
その他（純額）	293,989	300,469
有形固定資産合計	2,220,743	2,227,345
無形固定資産		
のれん	198,939	181,112
その他	61,949	57,415
無形固定資産合計	260,889	238,527
投資その他の資産		
投資有価証券	253,913	317,461
投資建物（純額）	1,990	1,898
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,603	3,703
繰延税金資産	176,094	167,853
その他	355,512	374,084
貸倒引当金	△1,761	△1,761
投資その他の資産合計	861,438	935,325
固定資産合計	3,343,071	3,401,198
資産合計	10,551,042	10,527,232

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	144,356	135,452
未払法人税等	206,800	165,640
未払消費税等	256,367	266,925
未払費用	708,231	677,517
賞与引当金	120,160	128,770
その他	407,564	415,198
流動負債合計	2,343,479	2,289,502
固定負債		
長期借入金	498,195	424,131
退職給付に係る負債	360,984	370,516
その他	144,553	118,331
固定負債合計	1,003,732	912,978
負債合計	3,347,212	3,202,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	5,593,843	5,685,085
自己株式	△773	△773
株主資本合計	7,142,550	7,233,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,066	82,482
退職給付に係る調整累計額	7,213	8,476
その他の包括利益累計額合計	61,279	90,959
純資産合計	7,203,830	7,324,750
負債純資産合計	10,551,042	10,527,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
売上高	5,319,978	5,527,547
売上原価	3,511,975	3,730,241
売上総利益	1,808,003	1,797,305
販売費及び一般管理費	1,425,946	1,454,409
営業利益	382,056	342,896
営業外収益		
助成金収入	19,120	16,855
受取賃貸料	16,948	16,260
その他	20,725	19,500
営業外収益合計	56,793	52,616
営業外費用		
支払利息	3,093	3,441
投資有価証券運用損	2,613	—
その他	1,497	1,899
営業外費用合計	7,204	5,340
経常利益	431,646	390,172
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,336
固定資産売却益	—	227
受取保険料	42,280	998
特別利益合計	42,280	2,562
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	—	71
投資有価証券評価損	20,550	—
特別損失合計	20,550	71
税金等調整前四半期純利益	453,377	392,663
法人税、住民税及び事業税	173,818	155,299
法人税等調整額	11,354	4,219
法人税等合計	185,172	159,518
四半期純利益	268,204	233,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	268,204	233,144

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	268,204	233,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,495	28,415
退職給付に係る調整額	3,527	1,263
その他の包括利益合計	20,022	29,679
四半期包括利益	288,226	262,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288,226	262,823

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	453,377	392,663
減価償却費	62,574	65,346
繰延資産償却額	161	—
のれん償却額	15,181	17,736
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△136	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,160	8,610
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,766	11,351
受取利息及び受取配当金	△2,313	△2,269
支払利息	3,093	3,441
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,336
投資有価証券運用損益 (△は益)	2,613	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△155
有形固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	160,341	202,390
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,004	9,311
前払費用の増減額 (△は増加)	△8,554	△5,661
未収入金の増減額 (△は増加)	879	75,119
未払金の増減額 (△は減少)	△43,110	△8,344
未払費用の増減額 (△は減少)	△15,699	△31,292
預り金の増減額 (△は減少)	△29,851	△4,849
その他	63,055	8,981
小計	676,532	741,038
利息及び配当金の受取額	2,313	2,268
利息の支払額	△3,220	△3,391
法人税等の支払額	△131,500	△187,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	544,125	552,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,797	△31,830
投資有価証券の売却による収入	—	1,500
有形固定資産の取得による支出	△36,787	△51,313
有形固定資産の売却による収入	—	227
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△202,844	—
短期貸付けによる支出	△800	△299
敷金の差入による支出	△426	△553
その他	34,803	△19,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,851	△101,771
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△73,357	△182,968
配当金の支払額	△108,555	△141,424
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30,285	△29,808
財務活動によるキャッシュ・フロー	187,801	△254,200
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	524,076	196,606
現金及び現金同等物の期首残高	4,566,842	5,421,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,090,918	5,618,067

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,588,820	118,305	205,787	407,064	5,319,978
外部顧客への売上高	4,588,820	118,305	205,787	407,064	5,319,978
セグメント間の内部売上高又は振替高	74,510	6,772	—	576	81,859
計	4,663,331	125,078	205,787	407,640	5,401,837
セグメント利益又は損失(△)	25,559	78	1,425	105,872	132,935

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	132,935
セグメント間取引消去	249,121
四半期連結損益計算書の営業利益	382,056

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,663,936	120,801	221,948	520,860	5,527,547
外部顧客への売上高	4,663,936	120,801	221,948	520,860	5,527,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	68,744	6,833	272	596	76,446
計	4,732,681	127,634	222,221	521,456	5,603,993
セグメント利益又は損失(△)	△82,626	1,462	2,431	163,871	85,139

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	85,139
セグメント間取引消去	257,756
四半期連結損益計算書の営業利益	342,896

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式取得による子会社)

株式の取得の理由

2024年4月9日に株式会社アイワ警備保障の全株式を取得し、完全子会社化することについて、株式会社アイワ警備保障と株式譲渡契約書を締結し、2024年4月9日に全株式を取得いたしました。

(1) 株式取得の目的

株式会社アイワ警備保障は、千葉県内において官公庁、病院、税務署等の施設警備を中心に交通誘導警備等を幅広く展開しております。

2024年3月31日現在、トスネットグループは当社及び17社で構成され、交通誘導警備及び施設警備を主力とした人的事業を主な事業としております。

当社グループは、これまで長年培ってきた警備事業を更なる生産性の向上を基軸に、ビルメンテナンス事業、メーリングサービス事業及び電源供給事業を提供し、グループ全体で相乗効果を高めながら、常に新しい企業体を目指しております。

このたび、株式会社アイワ警備保障の全株式を取得し、完全子会社としたことにより、首都圏にあります株式会社トスネット首都圏、株式会社三洋警備保障、株式会社日本保安及び株式会社エイコーと連携し、更なるシナジーを図ってまいります。

(2) 株式取得の相手会社の名称

被取得企業の経営者及びその他の株主

(3) 買収する相手会社の名称、事業内容、規模

① 名称	株式会社アイワ警備保障
② 所在地	千葉県長生郡陸沢町河須ヶ谷114番3
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 伊原 三男
④ 事業内容	警備事業
⑤ 2023年6月期の財政状態及び経営成績	
資本金	27,000千円
純資産	25,038千円
総資産	92,114千円
売上高	433,352千円
営業利益	△4,445千円
経常利益	△3,460千円
当期純利益	△3,668千円

(4) 株式取得の時期

2024年4月9日

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

① 異動前の所有株式数	なし
② 取得株式数	普通株式440株 (議決権の数440個)
③ 取得価額	28,500千円
④ 異動後の所有株式数	普通株式440株 (議決権の数440個 議決権所有割合100%)

(6) 支払資金の調達方法及び支払方法

取得資金につきましては、自己資金により支払っております。